

施策名4 学校・教育		総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等		
R9年度末にめざす状態（施策目標）【P】	主体的に楽しく学ぶこどもたちが増えている	進捗度	B	

【進捗度】 A：4年後にめざす状態をすでに実現している、B：4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる、C：4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる、D：4年後にめざす状態の実現には努力が必要である、E：4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である

(1)主体的に学ぶ人の育成				
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】		施策目標の実現に効果のあった取組【D】		取組による効果の内容とその根拠【D】
・越境・伴走型研修を通じて、自由進度学習や協働的な学びの実践が市内で着実に広がり、教職員同士が学び合う風土の醸成が進んだ。 ・各学校において教育方針の整理が進み、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を軸とした授業改善の方向性が明確化され、学校単位での実践の土台が整いつつある。 ・校内サポートルームについては、先行する実証校の取組を通じて、学校に通いづらさを感じる児童生徒の居場所として一定の機能を果たすことが確認されるとともに、令和8年度の全校展開に向けた運営体制や人材確保を進めることができた。		No.2	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指す授業改善の支援	越境型・伴走型支援を行い、市内67名関西圏から60名が参加。 ※前年度市内36名、全国56名参加
		No.3	AI学習ドリルを活用した個別最適な学びの推進	自由進度学習と組み合わせ、個別最適な学びと主体的な学び・協働的な学びの一体的な充実の推進を行った。
		No.6	校内サポートルーム事業	中学校7校・小学校3校において居場所・学びの支援を行った。登録人数147人
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】		施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】		
・授業改善の取組については、組織全体に広がっている学校もでてきているが、一方で個々の教職員の実践にとどまっているところもある。 ・校内サポートルームについて、設置は進んだものの、支援の質や運営体制には学校間で差がでる可能性がある。 ・先進的な実践を担う教職員への負担が相対的に大きくなっている。		・授業改善の取組については、個々の教職員の実践にとどまらず学校全体の取組として定着させるため、校内研修の充実や学校グラウンドデザインの見直し、管理職研修（スクールリーダー研修）を通して組織的な授業改善を推進する。 ・校内サポートルームについては、各校における運営状況や支援内容を共有するとともに、支援員の研修を充実させることで、支援の質の向上を図る。 ・先進的な実践を担う教職員の負担軽減を図るため、支援体制の強化を進めるとともに、学校全体で担う体制づくりを推進する。		

(2)主体的に学べる教育環境づくり				
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】		施策目標の実現に効果のあった取組【D】		取組による効果の内容とその根拠【D】
・生駒南小学校・生駒南中学校の一体的な整備に向けて基本設計を進めるとともに、教職員・保護者・こども・地域住民等の参画による検討を重ね、教育内容と一体となった施設整備の具体化を図ることで、学校施設の老朽化への対応を進めた。 ・人的支援体制の整備として「いこま教育・保育人材バンク」の運用を進め、講師、特別支援教育支援員、スクールサポートスタッフ等の確保を図ることで、学校現場の教育活動の安定的な実施に寄与した。		No.13	講師不足対策	令和7年度末時点でLINE登録者599名、詳細情報登録者380名（令和6年度末時点では230名）。年度途中の欠員の対応を行い、バンク経由で多数採用。
		No.9	生駒南小学校・生駒南中学校整備事業	基本設計・実施設計のプロポーザルを行い事業者を選定。以降、意見聴取に向けたワークショップ（共創スタジオ）11回の開催、関係課との毎月の打ち合わせにより設計業務を進めている。
		No.10	学校屋内運動場空調設備整備事業	市内17校の小学校・中学校において、工事を行い、完了した。
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】		施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】		
・上中学校の長寿命化改修については、国（文部科学省）の補助金の採択が当初見込みより大きく遅れたことにより、整備スケジュールに影響が生じており、計画的な施設整備の推進に支障をきたす恐れがある。 ・教員不足については、人材確保の取組を進めているものの、講師等の確保が困難な状況が続いている。		・上中学校の長寿命化改修については、今後のスケジュールを修正し工程管理を行いながら、事業者及び関係機関と連携し計画的な施設整備を着実に推進する。 ・教員不足への対応として人材確保の取組を強化するとともに、引き続き「いこま教育・保育人材バンク」による登録者増を進め、学校現場の体制確保と負担軽減を図る。		

《参考》施策の進捗状況を測る代表的な指標【C】																																							
I 学校に行くのは楽しいと思うこどもの割合 (%)	II 自分にはよいところがあると思うこどもの割合 (%)	III 施設の満足度（小・中学校） (点)																																					
<table><tr><th>時期</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>策定時</td><td>83.1</td></tr><tr><td>R6</td><td>81.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>88.09</td></tr><tr><td>R8</td><td>87</td></tr><tr><td>R9</td><td>87</td></tr></table>	時期	割合 (%)	策定時	83.1	R6	81.4	R7	88.09	R8	87	R9	87	<table><tr><th>時期</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>策定時</td><td>83.5</td></tr><tr><td>R6</td><td>82.1</td></tr><tr><td>R7</td><td>84.36</td></tr><tr><td>R8</td><td>87</td></tr><tr><td>R9</td><td>87</td></tr></table>	時期	割合 (%)	策定時	83.5	R6	82.1	R7	84.36	R8	87	R9	87	<table><tr><th>時期</th><th>点</th></tr><tr><td>策定時</td><td>57.6</td></tr><tr><td>R6</td><td>58.2</td></tr><tr><td>R7</td><td>58.2</td></tr><tr><td>R8</td><td>65</td></tr><tr><td>R9</td><td>65</td></tr></table>	時期	点	策定時	57.6	R6	58.2	R7	58.2	R8	65	R9	65	
時期	割合 (%)																																						
策定時	83.1																																						
R6	81.4																																						
R7	88.09																																						
R8	87																																						
R9	87																																						
時期	割合 (%)																																						
策定時	83.5																																						
R6	82.1																																						
R7	84.36																																						
R8	87																																						
R9	87																																						
時期	点																																						
策定時	57.6																																						
R6	58.2																																						
R7	58.2																																						
R8	65																																						
R9	65																																						

《参考》めざす状態に対する市民実感度 「そう思う」＋「どちらかというと思う」と回答した人の割合	
【R7.12月】 26.9%	（参考）前回値 26.6%